2023 年 9 月 19 日

「当センターでの ECMO 管理中に気道内出血による血栓形成により生じた中枢性気道狭窄に関する検討」

1. 研究の対象
2019 年 4 月 1 日から 2022 年 10 月 31 日の間に当センターで ECMO 管理中に気道内出血による血栓形成により中枢性気道狭窄を来たした患者さん

2. 研究目的･方法
「目的」　体外式膜型人工肺(extracorporeal membrane oxygenation: ECMO) は重症呼吸不全患者の治療の最大･最後の切り札とされています。 ECMO 管理中に自己肺を休ませることで集学的治療を継続し, 重症呼吸不全から回復させるための時間を担保し, かつ人工呼吸器関連肺損傷を最小限にすることが重要です. また ECMO 管理中は合併症の発生も多く, 死亡率の上昇とも関連性が報告されており, 最大の合併症は出血と血栓症です. ECMO 管理中に気道内出血により生じた中枢性気道狭窄に関してのまとまった報告はありません. 今回当センターで ECMO 管理中に気道内出血による血栓形成により中枢性気道狭窄 (central airway obstruction: CAO) を来たし気管支鏡的に除去が必要であった症例を経験しました。 当センターでのその頻度や気管支鏡を用いた血栓除去の方法などを後方視的に検討し、適切な診療の手助けとなる臨床的因子を抽出します。

「方法」　電子カルテ上で年齢･性別･入院期間･現疾患･治療内容･治療経過などの情報収集をします。
「研究期間」　承認後～2024 年 10 月 31 日
「利用を開始する予定日」 2023 年 11 月 1 日

3. 研究に用いる情報の種類
情報：年齢･性別･入院期間･現疾患･治療内容･治療経過等

4. お問い合わせ先
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料･情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先
大阪市住吉区万代東 3-1-56
大阪急性期･総合医療センター　呼吸器内科
研究責任者：田中　智
電話　06-6692-1201 (代)